

10/15

2009 No.254

特別定価 600
yen

pen

with New Attitude

美しい都、 ウィーンへ

完全保存版・全マップ付き



ロブマイヤーが常に、新しいのはなぜか。

新旧のクリエイティビティが時を経て受け継がれた好例。右：女性デザイナーユニット「ボルカ」による、デキャンタとグラスが一体になった「Josephine」(2006年)。カラーは写真のロザリンのほかにクリアなものもある。左：ウィーン工房のメンバーであり、建築家としても活躍したオズワルド・ヘアトルによる「Ambassador」(1925年)



J. & L. ロブマイヤー

J. & L. LOBMEYR

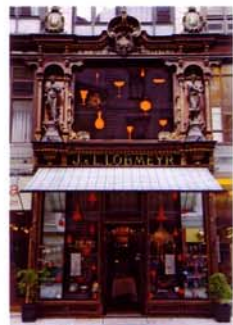
多くのクリエイターとのコラボで、
名作を生み続けるクリスタルの女王。

1823年、ひとりのガラス細工職人ヨーゼフ・ロブマイヤーによって誕生したJ. & L. ロブマイヤー。ヨーロッパ屈指のクリスタル・ブランドである。最大の特徴は、薄く繊細なフォルムでありながら、驚くほど堅牢であること。これは、鉛を含まない「カリ・クリスタル」を素材としていることによる。宙吹きやカッ

ティング、そして銅のホイールによる文様の彫刻まですべてが熟練の職人による手作業で行われ、軽く丈夫なカリ・クリスタルを、より一層、一流の“道具”たらしめている。同時に一点一点が、まるで芸術作品のような高貴さをたたえている。

また、時代に応じて実力派デザイナーたちを積極的に起用する柔軟

性も併せもつ。古くはテオフィル・ハンセンやヨーゼフ・ホフマンらが次々に名作を生み出した。そして、いまはウィーンの若手デザイナーの代表格であるボルカらが、この伝統あるブランドの新たな魅力を伝えている。新旧のデザインを比較してみれば、その歴史と芸術性を再確認できることだろう。



MAP P30 拡大図C-2

● Kärntnerstraße 26
1010 Wien
☎ 01-512-05-08
① STEPHANSPLATZ
☎ 10時～19時(月～金)
10時～18時(土) ② 休日
カード：A、D、U、M、V
www.lobmeyr.at

旧きをたずねて新しきを知る、
シックでエレガントな逸品たち。



アクセサリ・デザイナーで自身のブランドももつフローリアン・ラドシュテイターがデザイン。伝統的な鏡の装飾をもとに制作した、新しい発想の鏡「Orchid」(2007年)。

NY在住の装飾芸術家テッド・ミュeringによる、蝶が踊るドリンクング・セット(2007年)。繊細な文様はもちろん、すべて手彫りで、極薄にも関わらず凸凹まで表現している。

P50に案内人として登場するアーティスト、セバスチャン・メンシュホルンによる大ぶりの花瓶「Flowers of Life」(2002年)ブルーのほか、グレーも。ほかにタンブラーがある。

エバーグリーンな輝きを放つ、
芸術的なカッティング



ずばり、ハプスブルク家の宮殿の名を冠した「Hofburg」(1835年)は、創始者作。国家の威厳と格調高さを表す優雅なフォルムと紋章が輝かしい。発売以来、愛されてきた作品だ。

ルードヴィヒ・ロプマイヤーによる「Palais」(1866年)は、フィンガーボウルやフルーツボウルもある。いまでも根強い人気を誇る定番だ。直線的な溝が光を反射して上品に輝く。

それまでの伝統に加え、モダンな感性をロプマイヤーに持ち込んだステファン・ラートによる「Barock」(1905年)。バロック様式の複雑な文様が全面に広がる豪華な逸品。

今年のデザイナーズウィークには、ウィーン発の最新デザインが集結。そして美術館では歴史に残る名画を堪能。秋は、ウィーンの「美」を満喫しよう。

この秋、東京でウィーン的美を体感する。

デザイン

ユニークな発想に驚く、ウィーンデザインの最前線。

「100%デザイン東京」

多くの企業やクリエイターが海外から集まる、コンテンポラリー・インテリアデザインの国際見本市「100%デザイン東京」が、10月30日から11月3日まで、明治神宮外苑内で行われる。目玉は、ウィーンから来日するデザイナーによる作品の数々だ。なかでも、「フェイス・オブ・ザ・イヤヤー」のグランプリを受賞し、本誌(P76~79)でも紹介した、ポルカをはじめとする5組のデザイナーたちの作品は必見だ。ロブマイヤーやヴィットマンなど、ウィーンの名産ブランドとのコラボアイテムは、懐かしさのなかに新しいデザインが見受けられる。また、電子機器などのデザインプロジェクトを手がけるGPデザインパートナーズの「HEIソーラーライト」など、ハイテクで実用的なプロダクトにも注目したい。従来の枠にはまることのない、新しいウィーンデザインの魅力に魅了されるだろう。



上から時計まわりに：プロダクトや家具などのデザインで人気のポルカ。ロブマイヤーとコラボした「ジョセフィン」、ホーローの専門メーカーと共同制作した調理器具「ポルカポツ」。



●10月30日～11月3日
青山 明治神宮外苑
☎03・5777・8600
🕒10時～20時
(最終日は18時まで)
🎫一般¥2,000
www.spotonwien.com

日本とオーストリアの修交140周年を記念する今年、オーストリアは、最新デザインやアート、ファッション、音楽などを体感できるキャンペーン「SPOT ON WIEN」を展開する。「SPOT ON WIEN」とは、「ウィーンに注目」を意味し、将来を嘱望されるデザイナーやアーティスト、ファッションデザイナーに焦点をあて、ウィーンでのデザイン・シーンを活気づけよう、というもの。そのキャンペーンの一環として、このたび、東京デザイナーズウィーク開催中に明治神宮外苑で行われる「100%デザイン東京」で、彼らの作品が

披露されるというから見逃さない。いま最も注目のデザイナーに贈られるグランプリ、「フェイス・オブ・ザ・イヤヤー」に選ばれた5組のデザイナーをはじめとする、30作品が会場の中心部に展示される。また、期間中は、都内のクラブでもイベントを開催。クラウス・ミュールパウアーなどによるファッションショーや、最新の音楽シーンを盛り上げるDJのパフォーマンスなど、視覚に訴えるプログラムとなっている。伝統と歴史のあるウィーンに新しい「美」の息吹を吹き込む若手アーティストたち。目と耳で楽しめるプログラムの数々に、乞うご期待。

デザイナーズウィーク期間中、都内で行われる2大イベントに計10組20名様ご招待!

11月2日の「Fashion shooting」と、11月3日の「A journey of dance」の招待券をそれぞれ5組10名様にプレゼント。この機会に、ウィーンで最も注目されるデザイナーやアーティストの独創的な空間をお楽しみください。

下記Penサイトからお申し込みください。
<http://pen.hankyu-com.co.jp>
締め切り:2009年10月14日(水)24:00

※ 抽選の上、当選者を決定。当選者の発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。住所などの個人情報、招待状を發表する目的に限り利用します。

ファッション

「Fashion shooting」

11月2日には、ファッションデザイナーによるファッションショー「Fashion shooting」が行われる。会場は青山のクラブ「ベロア」。世界のセレブから愛されている帽子職人のクラウス・ミュールパウアーのほか、昨年大学を卒業したばかりで、モードな世界観に注目が集まるアリ・ツェットヴィッツなど、オーストリア・ファッションの最前線が、ここで明らかになる。

●11月2日 21時～23時
東京都港区南青山6-4-6 オルモストブルーB1階
☎03・5778・4777
www.velours.jp



上「M」のマークが特徴的な夏用のハット。美しいラインは男女問わず、世界中にファンをもつ。下「100年以上の歴史を誇る、老舗ブランド。4代目のクラウス・ミュールパウアー。

パフォーマンス

「A journey of dance」

パフォーマーによる「A journey of dance」は、11月3日、西麻布の「スーパー・デラックス」で開催。見所は、まったく動かないモニュメントが話題の「ワン・アワー・スタンディング・フォー」や、服飾の創造性を、ダンスの振り付けによってショー形式で表現する女性2人組のユニット「ルックルック」。サウンドやヴィジュアルアートを駆使した空間を存分に堪能しよう。

●11月3日 21時～24時
東京都港区西麻布3-1-25 B1階
☎03・5412・0515
www.super-deluxe.com